



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712
 ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>
 Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

灰汁(あじ)が強い。隔靴搔痒(かつかそうよう)

- 【灰汁が強い】・人の性格や考え方に表れる、個性があるしつこさ、どぎつさのこと。
 ・野菜等に含まれる渋みを「灰汁(あじ)」と呼ぶことから。
 【隔靴搔痒】・物事が思うようにならず、もどかしいことのたとえ。靴の上からかゆい所をかく感じから。

皆様のおかげで市議会議員とならせて戴いて半年が過ぎました。2回の議会を体験した感想として、市政や市民のことを真剣に考えている方、私的なことを主体としている方、『灰汁が強い』方、いろいろな方がいるなあ、と思いました。

私は、議会での質問は市政全般のことや制度・システムの不都合を正していくことに重点を置き、地域や個人的な要望等は、日常の議員活動の中で担当部局と相談して解決していこうと考えています。

- ①後者では、既に40件を越える依頼があり対処してきました。そのひとつに、飯山満3丁目の出光GSから菜園台駅方面に向かう、七林線沿いに歩道がなく大変危険で、かつ信号機も隠れる程に枝が伸びているので何とかしろ、との要望がありました。

この場所は、所有者の理解が得られず、依頼があってから半年以上も費やし『隔靴搔痒』でしたが、道路部と東警察署に辛抱強く折衝してきた甲斐(かい)があり、この程ようやく、枝の伐採とU字溝整備による歩道確保ができました。これからも用地買収を含めて、さらに安心して歩ける歩道整備をしていきます。



- ②次に、9月議会で質問した「防犯対策の充実について」「防災体制の充実について」「敬老行事について」「有価物・資源ごみ協力金と助成金について」「教育委員会の姿勢について」と行政側の回答をご報告します。

「防犯対策の充実について」

多種多様の犯罪が増加しているのに、対応する警察官が足りません。船橋東警察署では警察官一人あたり1550人の市民を担当しています。この数字は千葉県平均の1.5倍も多く、千葉県一となっています。

そこで、

◇市長直属で防犯対策の専門課を設置する必要がある。

◇プロである警察官OBを採用して、空き交番を無くしたり、地域防犯システムの確立をすべきである。

と質問しました。市の回答は、

☆防犯にかかわる組織体制は、業務量を含め他市の状況等を調査して検討していきたい。

☆町会や自治会等と警察と連携して、協力体制の拡充に努めたい。

等の前向きな答弁を得ましたが、確約をしてもらうまではいきませんでしたので、今後も担当部局と詰めていきます。



「防災体制の充実について」

日本列島あちらこちらで大きな地震が起きています。この地域にもいつ大きな地震や災害が起きてもお不思議ではありません。

市内には114ヶ所の避難所がありますが、生命の源「水」の確保としての「耐震性井戸」が18ヶ所しかありません。万一道路が寸断されたり電気が停まったりしたら、どのようにして「水」の確保ができるのか心配です。



また、消火器の詰め替え代金が、10型で5500円もします。自主防災組織がある町会・自治会には世帯数に応じて、詰め替えした場合に補助制度がありますが、量販店に

行くと新品が3000円程で購入できます。市内の防災設備組合保護も必要かもしれませんが、税金の無駄遣いのように感じます。

そこで次の質問をしました。

◇全避難所に、電気や発電機の要らない昔風の「手こぎポンプによる井戸」を設置してはどうか。費用も「耐震性井戸」の20分の1である。

◇市内の業者に、新品の消火器を安い価格で販売してもらい、その購入に際して「補助制度」を活用すべきである。

しかし、その必要性は認識しながらも満足の得られる回答ではありませんでしたが、前向きで検討して貰うことになりました。

大地震や災害に遭遇しないことに越したことはありません。万一のために準備しておくことが行政の大切な役割です。その実現に向けて頑張っていきます。

(以下次号)